

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		雨水利用促進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	市民部
	施策	10 水環境の保全				所属課	環境衛生課
	基本事業	26 地下水の涵養				所属班	環境衛生班
課長名		担当若名		成果優先度評価結果		②	
上山 幸顕		白濱 ひろ子		コスト削減優先度評価結果		④	
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 11380	法令根拠
合志市雨水タンク設置補助金交付要綱							
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地下水保全のため雨水浸透ますの設置補助金を交付していたが、対象者が少なく、(開発に伴う雨水浸透ますの設置は対象外)平成20年度から補助を行っていないため、雨水浸透ますに替わる地下水保全対策として21年度よりこの事業を計画した。散水等に使用するため雨水タンクを設置した世帯へ補助金を交付するもので、補助金の額は雨水タンク1基につき、本体の取得価格の1/2以内、上限を30,000円と1世帯2基までとする。雨水を散水等に再利用することにより、地下水の採取量の減少が見込まれ、水位の低下の抑制ができると思われる。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	補助金交付申請、決定通知、完了報告、完了検査、確定通知、支払い
【主な予算費目】	役務費、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	住民から助成に対しての問い合わせがある。議員からも助成の要望があがっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、支払い事務を行った。設置件数14件	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、支払い事務を行った。設置件数14件		雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、確定通知、支払い事務を行う。雨水タンク設置者に購入費の助成(30,000円×13基)を予定している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア!申請・交付件数	件	啓発については環境フェスタで行なうこととするため、報償費、費用弁償を削減したことによる減
→イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
世帯		(単位)世帯
		→ア!世帯数
		→イ
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
雨水を利用してもらう		(単位)世帯
		→ア!雨水タンクを設置した世帯
		→イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
雨水タンクを設置することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることが重要であり、成果指標を「雨水タンクを設置した世帯」し、目標値については22年度とほぼ同じ「13世帯」と設定した。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
①活動指標	ア	件	0	6	12	14	13	20	20
	イ								
②対象指標	ア	世帯	0	20,276	20,400	20,400	20,600	20,800	21,000
	イ								
③成果指標	ア	世帯	0	6	12	12	13	20	20
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		76	75	100	60	60
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円		93	327	198	332	332	332
人件費	(A)事業費計	千円	0	169	402	298	392	392	392
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	5	5	7	5	5	5
延べ業務時間	時間	0	294	200	230	220	240	240	
(B)人件費計	千円	0	1,170	796	947	906	988	988	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,339	1,198	1,245	1,298	1,380	1,380	

総トータルコスト
全体計画
~
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	雨水利用促進事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 住民からの問い合わせも増えており、更に広報周知等を行い目標を達成するように努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 多くの世帯へ普及することで、地下水の保全、水資源の有効利用を図ることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付に関する事業のため削減は厳しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできるか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため、正規職員以外では問題がある。また、適正な事務執行のための最低限な事務量と考えられるので削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内の全世帯を対象としているため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付関係事務のため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は、雨水タンク設置に伴う補助金交付申請受付、決定通知、完了報告、完了検査、確定通知、支払い事務、要項の改正等を行った。設置件数14件 広報、ホームページ等に掲載し周知を図り、地下水の保全、水資源の有効利用に努めている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 地下水涵養と雨水の有効利用を促進するため、継続して補助制度を行っていく	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						